

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和03年11月26日

計画の名称	大阪港における安全な交通基盤の形成と地域活性化による持続可能な港づくり（防災・安全）														
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	大阪市														
計画の目標	大阪港の既存の係留施設や外郭施設等の老朽化対策を行い、施設の延命化、利用者の利便性及び安全性の向上を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		2,133	A	2,133	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)	(R4末)	(R6末)
1	大阪港における既存の港湾施設において、予防保全計画に基づく老朽化対策を実施し、老朽化による事故や利用休止が起きる可能性がある施設数を減少させるように進める。 大阪港における既存の港湾施設において、老朽化による事故や利用休止が起きる可能性がある施設数を指標とする。 老朽化による事故や利用休止が起きる可能性がある施設の数	8施設	8施設	0施設

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	☐	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	大阪市	直接	-		戦略	改良	第三突堤基部物揚場改良	部材改良	大阪港・港地区					■	210	-	策定済	
		変更前：A02-002																			
	A02-002	港湾	一般	大阪市	直接	-		戦略	改良	安治川突堤北岸壁改良	部材改良	大阪港・港地区					■	480	-	策定済	
		変更前：A02-003																			
	A02-003	港湾	一般	大阪市	直接	-		戦略	改良	第7号岸壁改良	部材改良	大阪港・港地区					■	270	-	策定済	
		変更前：A02-004																			
	A02-004	港湾	一般	大阪市	直接	-		戦略	改良	J岸壁改良	電気防食	大阪港・南港地区					■	■	180	-	策定済
		変更前：A02-006																			
	A02-005	港湾	一般	大阪市	直接	-		戦略	改良	C7岸壁改良	電気防食	大阪港・南港地区					■	■	162	-	策定済
		変更前：A02-007																			
A02-006	港湾	一般	大阪市	直接	-		戦略	改良	常吉岸壁改良	電気防食	大阪港・此花地区						■	51	-	策定済	
	変更前：A02-008																				
A02-007	港湾	一般	大阪市	直接	-		戦略	改良	南港南防波堤改良	設計業務、嵩上げ	大阪港・南港地区					■	■	480		策定済	
	変更前：A02-009																				

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-008	港湾	一般	大阪市	直接	-	戦略	改良	南港北防波堤改良	設計業務、嵩上げ	大阪港・南港地 区				■	■	300	-	策定済
		変更前：A02-010																	
											小計						2,133		
											合計						2,133		

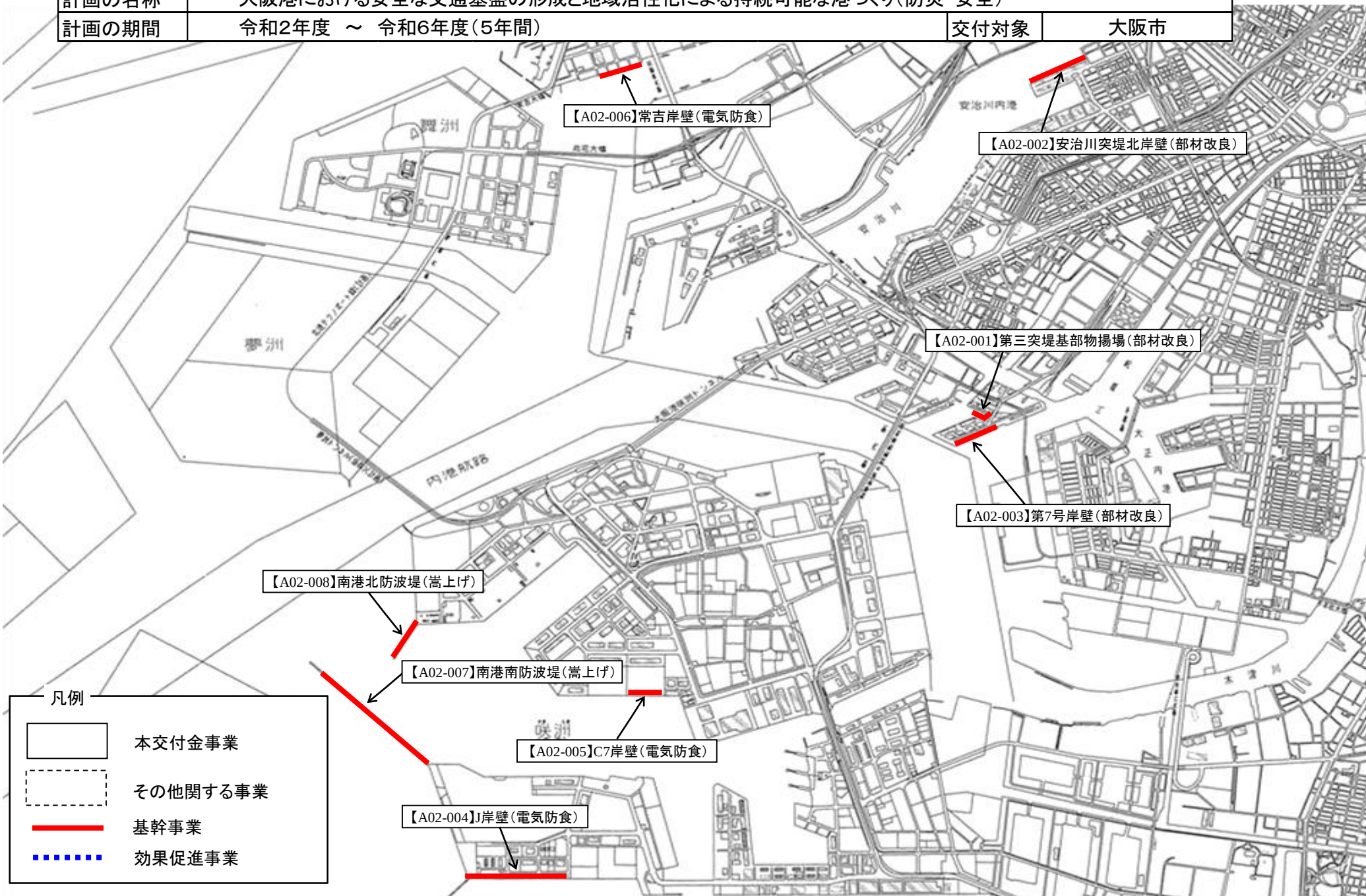
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02				
配分額 (a)	0				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	12				
支払済額 (e)	12				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

社会資本総合整備計画

計画の名称	大阪港における安全な交通基盤の形成と地域活性化による持続可能な港づくり(防災・安全)		
計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度(5年間)	交付対象	大阪市



凡例

- 本交付金事業
- その他関する事業
- 基幹事業
- 効果促進事業

事前評価チェックシート

計画の名称： 大阪港における安全な交通基盤の形成と地域活性化による持続可能な港づくり（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 大阪港港湾計画や社会資本整備重点計画と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 持続可能な港づくりという観点から、適切な整備箇所が位置づけられている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 市民や利用者の意向を踏まえた計画となっている。	○
III. 計画の実現可能性 持続可能な港づくりを進めることは、官民共通の認識となっている。	○